



## 2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月13日

上場会社名 株式会社ディ・アイ・システム 上場取引所 東  
 コード番号 4421 URL http://www.di-system.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 長田 光博  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部・経営 企画室担当 (氏名) 関亦 在明 TEL 03 (6821) 6122  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第2四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	2,146	20.7	98	△25.2	98	△14.7	61	△16.4
2019年9月期第2四半期	1,778	—	131	—	115	—	73	—

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 62百万円 (△15.4%) 2019年9月期第2四半期 73百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	40.26	40.12
2019年9月期第2四半期	50.60	49.49

(注) 1. 2018年9月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2018年9月期第2四半期の数値及び2019年9月期第2四半期の対前年四半期増減率を記載しておりません。  
 2. 2019年9月期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式が2018年10月19日に東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）へ上場したため、新規上場日から2019年9月期第2四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	1,794	891	49.7
2019年9月期	1,651	866	52.5

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 891百万円 2019年9月期 866百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,522	17.3	138	△41.4	135	△38.3	94	△39.5	61.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期2Q	1,524,500株	2019年9月期	1,524,500株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	34株	2019年9月期	34株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期2Q	1,524,466株	2019年9月期2Q	1,450,329株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2020年6月2日（火）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。  
この説明会の動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
3. その他 .....	8
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境が緩やかな回復基調で推移した一方、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減や相次いだ自然災害の影響から、景気の落ち込みが懸念される状況となりました。また、米中貿易摩擦や英国のEU離脱、中東地域での地政学的リスク等の近隣国の動向に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による予期せぬ経済への影響や社会的不安が重なり、先行きはますます不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス産業におきましては、改元や消費増税、働き方改革などの政策を背景に、サービスを主体とする事業構造への変革や競争力強化を目的とした製品開発、省力化・合理化を目的としたシステム投資、各種ソフトウェアの保守期間終了に伴う維持・更新投資など、需要は依然として堅調に推移しましたが、一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大から今後の先行きは不透明な状況となっております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、経営体制の一層の充実と強化を図り持続的成長と企業価値の向上を目指すために、会長、社長の代表取締役2名体制へと当社の経営体制を変更するとともに、「中期経営計画(2020~2022年度)」を策定し、採用活動及び営業範囲の拡大を目的とした横浜サテライトオフィスの新規開設や、業容拡大に伴う大阪事業所オフィスの増床など、市場ニーズを享受できる体制づくりを積極的に行ってまいりました。

また、2月以降につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う政府・自治体からの外出自粛要請を受けて、多くの企業がリモートワークを実施したことにより、システムインテグレーション事業におけるネットワークの設計構築業務及びセキュリティ関連業務の受注が増加傾向となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、2,146百万円(前年同期比20.7%増)となりましたが、業容拡大により前年度に移転した名古屋支店における什器費用の計上や内部管理体制強化に伴うソフトウェア投資、横浜サテライトオフィス新設、大阪事業所のオフィス増床等の先行投資に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響を背景としたIT技術者向け研修業務(集合型研修)の一部キャンセル等により、営業利益98百万円(同25.2%減)、経常利益98百万円(同14.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は61百万円(同16.4%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,310百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円増加いたしました。これは、売掛金が39百万円、商品が19百万円増加したことによるものであります。

#### ②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は483百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円増加いたしました。これは、有形固定資産が24百万円、無形固定資産が35百万円、繰延税金資産が14百万円、投資その他の資産のその他が15百万円増加したことによるものであります。

#### ③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は718百万円となり、前連結会計年度末に比べ119百万円増加いたしました。これは、主に買掛金が45百万円、流動負債のその他が82百万円増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が18百万円減少したことによるものであります。

#### ④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は184百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少いたしました。これは、主に退職給付に係る負債が8百万円増加した一方、長期借入金が9百万円減少したことによるものであります。

#### ⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は891百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が23百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の連結業績予想につきまして、今般の新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響を日々精査しておりますが、現時点では2019年11月13日の「2019年9月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予測に変更はありません。当社といたしましては、従業員および顧客企業をはじめとするあらゆるステークホルダーの安全と健康を守り、安定的に事業運営を継続していくための対策を講じることが重要課題のひとつと認識しております。なお、今後、状況の進展及び事業の進捗を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	628,953	629,261
売掛金	549,207	588,865
商品	999	20,121
仕掛品	20,989	9,275
その他	57,944	63,369
流動資産合計	1,258,094	1,310,892
固定資産		
有形固定資産	139,059	163,207
無形固定資産	8,074	43,336
投資その他の資産		
繰延税金資産	101,125	115,593
その他	145,294	161,209
投資その他の資産合計	246,420	276,802
固定資産合計	393,554	483,346
資産合計	1,651,648	1,794,239
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	128,583	174,166
1年内返済予定の長期借入金	50,060	31,141
未払法人税等	52,295	58,416
賞与引当金	124,508	127,764
その他	243,834	326,810
流動負債合計	599,281	718,298
固定負債		
長期借入金	9,481	—
退職給付に係る負債	153,055	161,800
その他	22,861	22,819
固定負債合計	185,398	184,619
負債合計	784,680	902,918
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	290,040	290,040
資本剰余金	214,040	214,040
利益剰余金	371,240	394,509
自己株式	△63	△63
株主資本合計	875,256	898,525
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△8,288	△7,204
その他の包括利益累計額合計	△8,288	△7,204
純資産合計	866,968	891,321
負債純資産合計	1,651,648	1,794,239

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,778,844	2,146,415
売上原価	1,353,056	1,698,366
売上総利益	425,788	448,049
販売費及び一般管理費	294,350	349,732
営業利益	131,437	98,317
営業外収益		
受取利息	4	3
助成金収入	427	330
その他	—	80
営業外収益合計	432	413
営業外費用		
支払利息	1,053	400
上場関連費用	15,508	—
その他	198	88
営業外費用合計	16,759	488
経常利益	115,110	98,242
特別損失		
減損損失	8,894	—
固定資産除却損	—	4,241
特別損失合計	8,894	4,241
税金等調整前四半期純利益	106,216	94,001
法人税、住民税及び事業税	54,338	47,566
法人税等調整額	△21,515	△14,946
法人税等合計	32,822	32,620
四半期純利益	73,393	61,380
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	73,393	61,380

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	73,393	61,380
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	415	1,084
その他の包括利益合計	415	1,084
四半期包括利益	73,808	62,465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,808	62,465
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	106,216	94,001
減価償却費	7,425	10,234
減損損失	8,894	—
保証金償却	891	1,526
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,543	3,255
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,950	10,307
固定資産除売却損益(△は益)	—	3,360
受取利息	△4	△3
支払利息	1,053	400
売上債権の増減額(△は増加)	△151,806	△39,657
たな卸資産の増減額(△は増加)	△13,858	△7,407
仕入債務の増減額(△は減少)	58,739	45,582
その他の資産の増減額(△は増加)	△6,960	△19,927
その他の負債の増減額(△は減少)	△36,205	42,321
小計	△17,209	143,993
利息の受取額	4	3
利息の支払額	△1,003	△330
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△39,951	△52,296
営業活動によるキャッシュ・フロー	△58,159	91,370
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△789	△10,005
有形固定資産の除却による支出	—	881
無形固定資産の取得による支出	—	△1,773
差入保証金の差入による支出	△30,645	△13,713
その他	288	60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,145	△24,550
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△58,335	—
長期借入金の返済による支出	△56,195	△28,400
株式の発行による収入	353,280	—
配当金の支払額	△27,140	△38,111
財務活動によるキャッシュ・フロー	211,610	△66,511
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	122,304	308
現金及び現金同等物の期首残高	523,756	628,953
現金及び現金同等物の四半期末残高	646,061	629,261

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	システムインテグレーション事業	教育サービス事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,761,178	17,666	1,778,844
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	1,761,178	17,666	1,778,844
セグメント利益	423,310	2,477	425,788

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上	金額
報告セグメント計	1,778,844
調整額(セグメント間取引消去)	-
四半期連結財務諸表の売上高	1,778,844

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	425,788
調整額(セグメント間取引消去)	-
販売費及び一般管理費	△294,350
四半期連結財務諸表の営業利益	131,437

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「システムインテグレーション事業」セグメントにおいて、名古屋支店の移転に係る減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において、8,894千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	システムインテグレーション事業	教育サービス事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	2,118,975	27,440	2,146,415
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,800	4,800
計	2,118,975	32,240	2,151,215
セグメント利益	448,730	4,118	452,849

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上	金額
報告セグメント計	2,151,215
調整額(セグメント間取引消去)	△4,800
四半期連結財務諸表の売上高	2,146,415

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	452,849
調整額(セグメント間取引消去)	△4,800
販売費及び一般管理費	△349,732
四半期連結財務諸表の営業利益	98,317

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。